

大阪市による新法人設立についてのお知らせ

平成31年4月1日付けで、大阪市は地方独立行政法人大阪市博物館機構を設立し、市内の6館の美術館・博物館(大阪市立美術館、大阪市立東洋陶磁美術館、大阪歴史博物館、大阪市立自然史博物館、大阪市立科学館、大阪中之島美術館〔2021年開館予定〕)について、同機構のもとで運営する予定です。新法人設立後も、各館の名称はもとより、各種事業はこれまで同様に行うことといたします。なにとぞご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

作品修理報告

平成29年度に下記3点の所蔵作品の修理が完了しました。展覧会等で順次公開します。

- 《芸能譜》 中村貞以 2曲1双
- 《天発神讖碑》 4幅
- 《茶吉尼天曼茶羅》 1幅(部分右図)



イケフェス大阪 2018

当館はこのたび「生きた建築ミュージアム フェスティバル 大阪2018」に参加いたしました。本イベントは毎年秋に大阪の魅力的な建築を公開するもので、当館の参加は大阪市都市整備局の強い要望によって実現したものです。当館は特別展開催中のため、10月29日(月)にアフターイベントとして休館日の美術館をご覧いただくべくガイドツアーを企画・実施いたしました。希望者は定員を超え、抽選によった参加者には登録有形文化財の美術館本館の魅力を隅々までお楽しみいただけたようです。ご来館の際には美術館の建物にもぜひご注目ください。

所蔵作品の貸出

他館への貸出を予定している当館所蔵作品です。展示期間などの詳細は各施設へお問い合わせください。

<p>《金輪仏頂図》</p> <p>中之島香雪美術館(大阪市) 2019年3月21日(木・祝)～5月6日(月・振休) 「明恵の夢と高山寺」</p>	
<p>岡本豊彦《呉春像》ほか 計4件</p> <p>西宮市大谷記念美術館(西宮市) 2019年4月6日(土)～5月12日(日) 「四条派への道」</p>	
<p>長谷川等二《竹藤図屏風》(田万コレクション)</p> <p>石川県七尾美術館(七尾市) 2019年4月27日(土)～5月26日(日) 「長谷川等伯展 ～屏風・襖・大画面作品を中心に～」</p>	
<p>《邸内遊楽図屏風》</p> <p>サントリー美術館(港区) 2019年6月26日(水)～8月18日(日) 「遊びの流儀 遊楽図の系譜」(仮称)</p>	
<p>《銅造 誕生釈迦仏立像》(田万コレクション)</p> <p>三井記念美術館(中央区) 2019年7月6日(土)～9月1日(日) 「日本の素朴絵 一ゆゑ、かわいい、たのしい美術一」</p>	

特別展

仏像 中国・日本

2019年10月12日(土)～12月8日(日)

悠久の歴史を刻む中国の仏像。それを受容してきた日本の視点で読み解きながら通観する特別展を開催します。日本にはいつの時代にも中国でつくられた多くの仏像や仏画が舶載され、日本の仏像のすがたに大きな影響をあたえてきました。

本展では、まず「古代の人物表現 戦国～漢時代」を踏まえ、「仏像の出現とそのひろがり」、「遣隋使・遣唐使の伝えたもの」、「禅宗の到来と「宋風」彫刻」そして「新たな仏教・キリスト教との出会い」の各章を通じ、中国南北朝時代から明・清時代にいたる仏像の移り変わりを、関連する日本の仏像と共にご紹介いたします。



重要文化財(木造 観音菩薩立像)(部分)
隋時代・6-7世紀 堺市博物館

◆表紙作品紹介

《白磁 牡丹文蓋物》 伊万里焼 江戸時代・17世紀後半
本館蔵(岩田久子氏寄贈)

ろくろ挽きの後、型に押し当てて陽刻文を施しています。純白の白磁に、ほのかに浮かびあがる牡丹文が温雅な雰囲気なたたえ、この時期の伊万里焼の技術の高まりを示しています。

大阪市立美術館 天王寺公園内

Osaka City Museum of Fine Arts

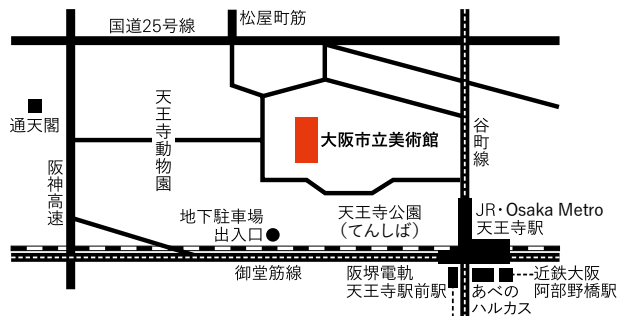
〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町1-82

tel. 06-6771-4874 fax. 06-6771-4856

<https://www.osaka-art-museum.jp>

開館時間＝9:30～17:00(入館は16:30まで)

休館日＝月曜日(ただし月曜日が祝日の場合は翌平日)



交通案内:Osaka Metro 御堂筋線・谷町線、JR「天王寺」、近鉄南大阪線「大阪阿部野橋」、阪堺電軌上町線「天王寺駅前」下車、または大阪シティバス「あべの橋」下車、北西へ約400m